



# ふくとみっ子

福富小学校便り  
NO.9  
2022年7月7日(木)  
文責 校長 櫛村 圭子

《校訓 あなたには伸びる力がある 今日の努力がそれを創り育てる さあがんばろう!》

## 地域に学ぶ・人に学ぶ! 御協力ありがとうございました!

6月には、福富地域の皆様に直接学ばせていただく機会が多くありました。まだ続くコロナ禍で様々な制約はあるものの、対策を取りながら直接お会いしてお話を聞いたり、質問させていただいたりすることのありがたさをひしひしと感じています。皆様のおかげで、子どもたちはまさに「生(なま)」の学びをしています。深い学びにつながっています。本当にありがとうございます!

### 2年生 町たんけん

身近な地域の人や物事と自分の生活との関わりを知るために、地域の施設やお店に「たんけん」に行きました。大変お忙しい中に、子どもたちに分かるようにいろいろなものを見せていただいたり、質問に答えたりしていただいたおかげで、子どもたちの目が輝いていました! 大変お世話になりました。ありがとうございました。



福富駐在所 様



バーバーショップハシモト様



松尾石油 様



大弘寺 様



セブンイレブン福富インター店 様



だるまずし 様



福富ゆうあい館 様



福富郵便局 様

普段見られない、バックヤードやお仕事に使う道具を見せていただきました。

## 4年生 総合的な学習「ボランティアって何だろう？」

4年生は、総合的な学習で「ボランティア」について学習しています。実際にボランティアをされている方にインタビューをする学習をしました。ラベンダー会の大串さん、片渕さん、見守り隊の皆様、交通指導員の久原さんにおいでいただき、ボランティアについてお話をいただきました。

子どもたちはたくさんの質問をして、その一つ一つに皆様丁寧にお答えいただきました。

ボランティアの先輩のお話を聞き、今後4年生がどのような活動をしていくのか楽しみです。



交通指導員さんや見守り隊の皆さんは、雨の日も風の日も定期的に子どもたちの登下校を見守っていただいています。雨の日は送迎が多くて、誰も通らないときもあると話されていました。その日の体調や状況にもよりますが、白石町が推奨している「自力登校」も頑張ってお呼び掛けたいなと改めて思いました。

## 雨の時期に思い出す文章 ～子育てのヒント～

数年前の、佐賀新聞の「おとこの星座」という投書コーナーにあった文章を切り抜いていました。雨の時期になるといつもこの文章を思い出して読み返しています。こういうやり取りって多いのではないかなと思います。大人の言葉掛けや働き掛けで、子どもたちの心情や行動も変わってくるようですね。自分で考え、行動する子を育てていくヒントになりそうです。

「自分が決めたこと」 佐賀市 嬉野 一紀  
わが子が幼い時、ある朝のできごと。予報では、午後から雨が降るだろうとのこと。登校の身支度をするわが子へ、私は「傘をもっていきなさいよ」と声をかける。しかし、その日、雨は降らなかつた。しばしばあることだ。

別の朝。私は、わが子へ何も声をかけなかつたが、その日は午後から雨が降った。

夕方、雨にぬれたであろうことを私が話題にすると、わが子から『持って行け』って、父さんが言わなかつたからと返ってきた。父親のせいにされてしまった。予想外であった・・・この夜の会話は今も忘れない。

それ以降、情報を与えて判断は委ねることにした。例えば、「今日は、午後から四〇%だった。傘を持っていく？どうする？」など。

無責任な親かもしれないと、自分でも思うことがある。たまに迷う姿が見られるとき、「〇%か・・・お父さんなら傘を持っていくかなあ」と親の考えを言うこともあった。もちろん、傘を持って行ったものの、学校から持ち帰るのを忘れることも数回あった。しかし、親のせいにされることはなくなった。

他人が決めたことに従うのは、ラクだ。どうなるのだろうかと、思いめぐらす必要はあまりない。うまくいなくても、自分のせいではない。振り返って、自分自身はどうだろうか。

言うは易し、行うは難し。

福富小のホームページでは、学校だよりもカラーで見られます。どうぞご覧ください！

